

フロアホッケー活動分析

○概要

フロアホッケーは、車いすでスティックを操り相手のゴールにボールを入れる競技。活動の上で大事な要素はボールを確認するとき、下を向く動作ができるということ。今回はホッケーをやる上で必要な下を向く動作中心を活動分析によって考察してみた。

なぜ下向きの動作が必要なのか？

下を向くという動作は、ボールを操るときにしている、その役目はボールとスティックの位置を視認し味方と敵のプレイヤーの位置関係により次のプレーを考える要素となっている。下向きの動作が厳しくても、遠くからボールを確認し、スティック位置を予測してもボールは当てられるが、実際の試合ではボールが来る方向は絶えず変化し位置も様々なため能動的なプレーができない。

図1 視界とボールの関係



○見えるようにするには？

筋ジスの場合では、年々下を向くのが難しくなるので、ホッケーをするのが困難となる。解消するためにはスティックを長くすることを考えられるが、そうするとスティックを含めた回転半径が大きくなり相手のプレイヤーとぶつかる可能性が増えるため、現在のルールや動作では危険が増す。環境と人の動きを変えるのは難しく活動を考えていく方向に変えていく必要がある。

図2 ボールの視認



図3 回転半径

